患者向医薬品ガイド
2024年7月更新

ブロムワレリル尿素「ホエイ」

【この薬は？】

販売名	ブロムワレリル尿素「ホエイ」 Bromovalerylurea
一般名	ブロモバレリル尿素 Bromovalerylurea
含有量 (1g中)	1g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、催眠鎮静剤と呼ばれるグループに属する薬です。
・この薬は、脳が興奮している状態をしずめ、寝つきをよくしたり、不安や緊張をやわらげたりする働きがあります。
・次の病気の人に処方されます。
不眠症、不安緊張状態の鎮静
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。
・この薬に対し過敏症のある人

〇次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
・肝臓に障害のある人、腎臓に障害のある人
・高齢の人、虚弱な人
・呼吸機能が低下している人
・小児

〇この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。
不眠症：１日１回０．５～０．８ｇを就寝前または就寝時に服用します。
不安緊張状態の鎮静：１日０．６～１．０ｇを３回に分けて服用します。

●どのように飲むか？

コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

〔不眠症に使用する場合〕
決して２回分を一度に飲まないでください。
〔不安緊張状態の鎮静に使用する場合〕
決して２回分を一度に飲まないでください。飲み忘れに気付いたら、１回とばして次の時間に１回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く飲んだ場合、中枢神経症状（四肢の不全麻痺、深部反射消失、呼吸抑制など）がおこる場合があります。また、目がさめた後に幻視（実際には無いものが見えたり、音が聞こえたりするように感じる）、全身けいれん発作、神経炎、神経痛などがおこる場合があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれたら、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・不眠症の人が使用する場合には、寝るしたくをすませてから就寝の直前に飲むようにしてください。また、この薬を服用し、いったん寝たあと、短時間後にまた起きて、仕事などをする必要があるときは飲まないでください。
・自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
・この薬を続けて飲んでいると、薬をたくさん飲みたい、薬がないといられない気持ちになるなど、薬物依存の症状があらわれることがあるので、長期間の使用は避けることとされています。このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。また、この薬の量を急激に減らしたり、中止したりすることで、けいれん発作、せん妄、振戦、不安などの離脱症状があらわれることがあるので、この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。この薬の飲む量や飲む期間については医師の指示に従ってください。
・アルコール飲料は、この薬の効果に影響しますので控えてください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などをおこす

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
その他	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などをおこす

【この薬の形は？】

形状	結晶または結晶性の粉末
色	無色または白色

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	日局　ブロモバレリル尿素 （日局別名　ブロムワレリル尿素）
添加物	なし

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ヴィアトリス・ヘルスケア合同会社
販　売　会　社：ヴィアトリス製薬合同会社
メディカルインフォメーション部
フリーダイヤル　０１２０－４１９－０４３
受付時間：月～金　９時～１７時３０分
（土日祝および当社休業日を除く）